

授業概要

博物館の定義、目的、機能、分類、歴史、関係法令を学び、社会における博物館の存在意義を理解し、学芸員の役割を認識した上で、その基礎的素養を身につけるよう講義する。
さらに、博物館を研究対象とする博物館学の知識を得ることにより、多方面から博物館を考えられるように指導する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス 学芸員について
第 2 回	博物館の定義と目的
第 3 回	博物館の形態と機能
第 4 回	博物館の分類
第 5 回	博物館学の発達
第 6 回	欧米の博物館の歴史① 古代ギリシャ・ローマ時代から ルネサンス期までの博物館の発達
第 7 回	欧米の博物館の歴史② 17・18 世紀の博物館の動向
第 8 回	欧米の博物館の歴史③ 19 世紀以降、現代に至るまでの博物館の展開
第 9 回	アジアの博物館の歴史① 植民地時代の博物館の歴史と状況
第 10 回	アジアの博物館の歴史② 中国・韓国の博物館の概要と日本との関わり
第 11 回	日本の博物館の歴史① 古代から近世における博物館前史
第 12 回	日本の博物館の歴史② 明治・大正時代の博物館の誕生と発達
第 13 回	日本の博物館の歴史③ 昭和戦前期の博物館の状況と戦後の博物館の展開
第 14 回	博物館法と関連法規
第 15 回	授業の総括 博物館の現状と課題
第 16 回	筆記試験

到達目標

- ・博物館に関する基礎的知識を習得し、生涯学習社会の中での博物館の意義と役割を具体的に理解できる。
- ・学芸員としての素養と適性を養い、博物館そのものの理解を深め、博物館を利用する市民としての視点も自覚して、社会におけるインタープリターの役割を果たすことができる。

履修上の注意

遅刻・欠席をしない。授業時には積極的な発言を求める。
なるべく多くの博物館を見学すること。

予習・復習

授業内で取り上げた国内外の博物館について、興味を持って Web サイトや文献等を調べること。

評価方法

学期末試験 80%、受講態度 20%。

テキスト

教科書は特に使用しない。授業内に参考文献をあげ、適宜資料を配布する。